二月十五日（釈迦入滅の日）高尾山釈尊涅槃会

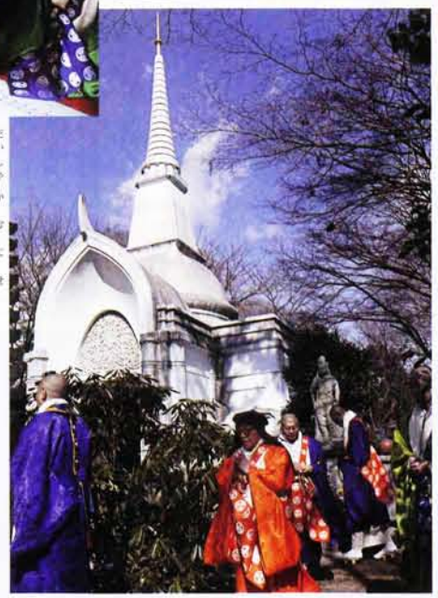
二月十五日は、お釈迦様が入滅（お亡くなりになる事）された日と伝わっております。この日は高尾山では毎年、釈尊涅槃会が行われております。

高尾山有喜苑にある、タイ王室より分贈された大釈迦牟尼世尊の真身骨を奉安してある仏舎利塔において、御貫首お導師により法要が営まれ、引き続き書院において、お釈迦様入滅時の様子を描いた「高尾山涅槃図」を飾り、お釈迦様を偲ぶ法要、涅槃会が執り行われました。

日本最古の涅槃図は、高野山金剛峯寺が所蔵しており、時代によりさまざまな構図を表して全国に伝わったと言われ、「高尾山涅槃図」には、お釈迦様の周りに、弟子達、動物達、天狗やムササビなどの悲しみが描き出されています。

涅槃図には、命の終焉を描くと共に、お釈迦様の教えを永く伝えることが表されているのです。

「高尾山涅槃図」の前で、お釈迦様を偲んでの法要


お釈迦様の真身骨のある仏舎利塔で回向する御山主

八王子市仏教会主催 ねはん会の集い（二月二十日）

八王子市にある「八王子いちょうホール」にて、二月二十日、八王子市仏教会主催、八王子南無の会後援で、「ねはん会の集い」が執り行われました。

十二時半に開場が始まり、多くの皆様が集まり、午後一時より八王子市仏教会々長・小澤憲珠極楽寺御住職を御導師に、市内各宗派の僧侶約三十名で涅槃会法要が営まれ、一時半より作家・大正大学客員教授、ひろさちや先生が記念講演をされ、この世の苦しみ、悲しみ、悩みが、あの世へ行けば、美しい思い出となるのですと話されました。

三時よりは、市内在住の六代目・柳家小さん師匠による、「蒟蒻問答」が演じられました。

八王子市内の各宗派の僧侶による「ねはん会」法要

初午福徳稲荷祭（二月十一日）

去る二月十一日、初午福徳稲荷祭が、御本社脇の稲荷社に於いて執り行われた。

当日は好天に恵まれ、大勢の人により奉納された五色旗が風に吹かれてはためいていた。

大山御貫首大導師により家内安全・身体健全・商業繁昌・五穀豊穣などが御祈念され、多くの参列者と共に祈りが捧げられた。

初甲子大黒天祭（二月十七日）

クコの木御奉納者御芳名

八王子市	佐宗	政光
〃	佐宗	和美
〃	佐宗	千明
〃	佐宗	愛子
〃	青木	和男
〃	青木	智恵子
〃	坂本	義男
〃	坂本	幸子
〃	臼井	政美
〃	谷合	正義
〃	谷合	正子
〃	安藤	亮治
〃	島崎	清美
〃	源田	和美
〃	猪鼻	幸子

（順不同・敬称略）

高尾山献上そば行列

二月十四日、本年で八回目となる「高尾山冬蕎麦キャンペーン」の一環として、「高尾山献上そば行列」が行われた。法螺貝を吹く山伏の先導により、大勢の参加者が高尾山麓商店街を通り山麓不動院まで練り歩いた。

不動院前にて、菅谷執事長に手打ちそばが奏上され、御本尊様の御宝前に供えられた。